

平成 27 年度 筑西市市民意識調査結果 概要版

発行 筑西市市長公室広報広聴課

1 調査概要

(1) 調査の目的

筑西市の現状、まちづくりの取り組みに対する市民の満足度、社会情勢などから取り組みを必要とする重要な課題について市民の意向や行動の実態を把握することを目的に実施しました。

(2) 調査対象

この調査は市内にお住まいの20歳以上の方々から無作為に抽出した2,500名を対象に実施しました。

(3) 調査期間

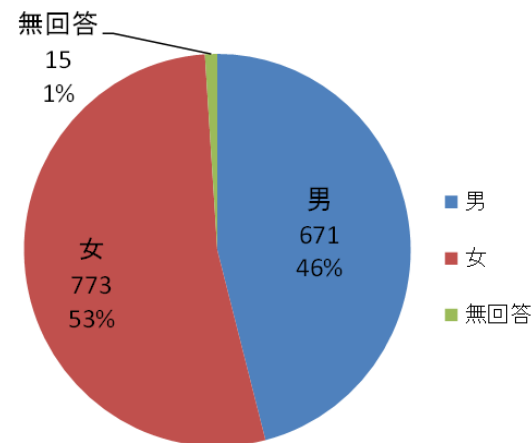
平成 27 年 9 月～10 月実施

(4) 回収状況

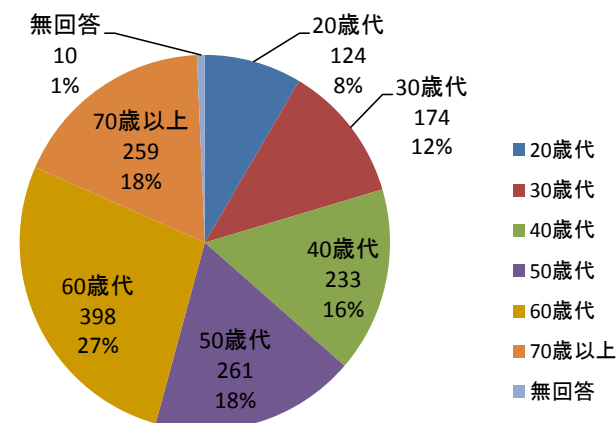
配布数：2,500 通 回収数：1,459 通 回収率：58.4%

2 各設問と結果

(1) 男女比

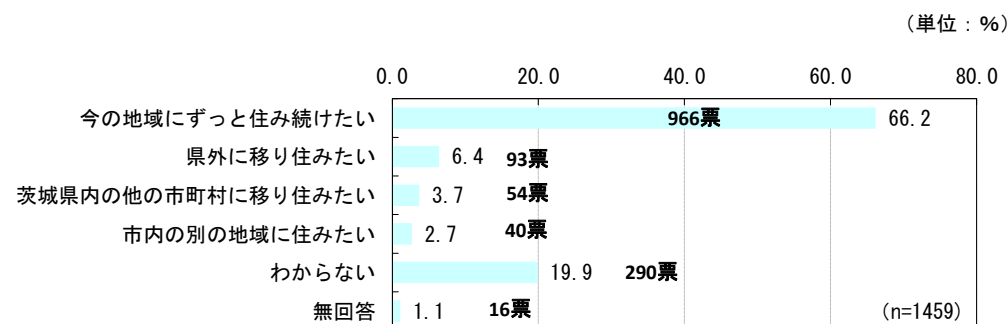


(2) 年齢構成比



(3) あなたは今後とも筑西市に住み続けたいと思いますか。

「今の地域にずっと住み続けたい」が 66.2%と最も多く、全体の 2/3 を占めています。

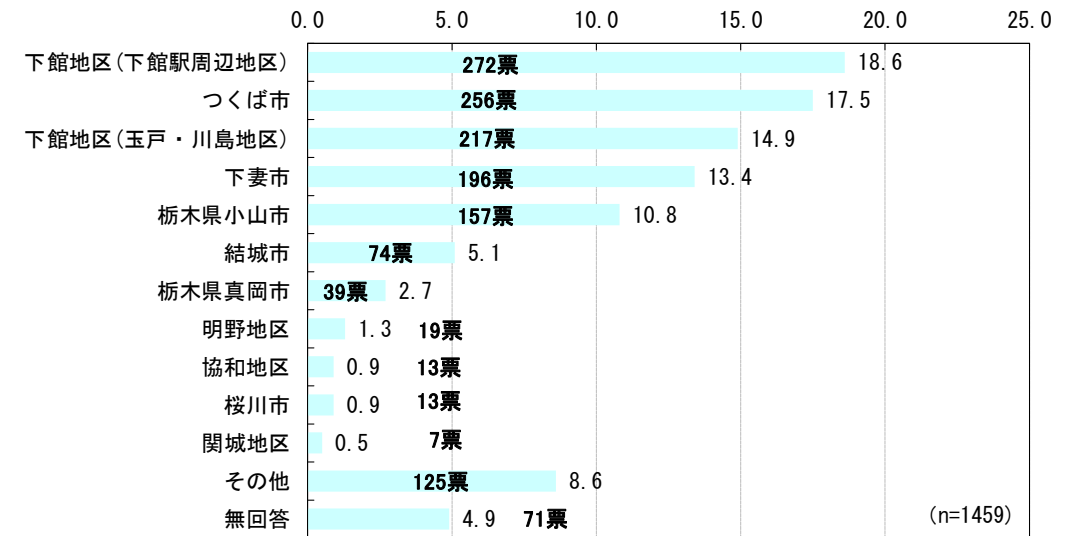


(4) 医療、買い物、レジャーのため、主にどの地域を利用していますか。

買回り品は、「下館地区（下館駅周辺地区）」が 18.6%、「つくば市」が 17.5%を占めています。

○平成 23 年市民意識調査との比較

平成 23 年の市民意向調査では、「つくば市」は 5 位（12.2%）でしたが、つくばエクスプレスの開業効果や大規模店舗の開業により、利用者が増加していると推測されます。



※買回り品：家具・電化製品・ファッション用品など、商品を買うために複数の店を見て回り、価格やデザインなどを比較して決める商品。

(5) 各施策の満足度・重要度

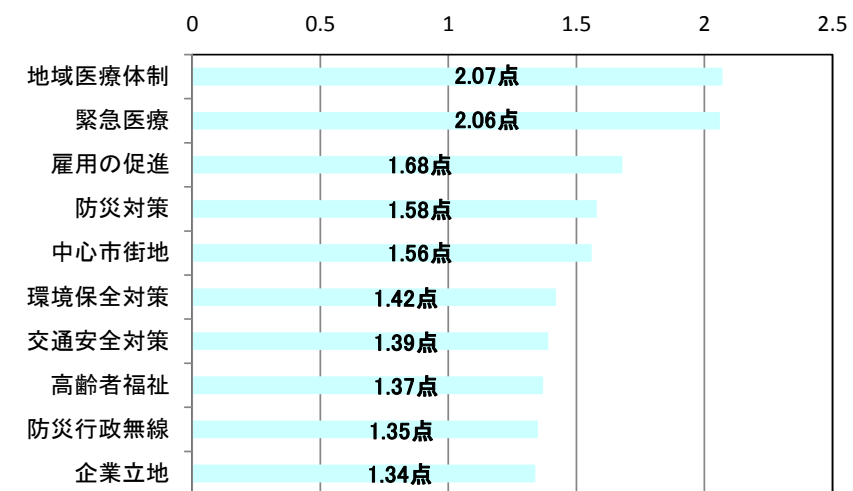
満足度：日常生活の場面を思い出して、市の取り組み状況にどの程度満足しているか。

重要度：市全体のことを考えて、今後、市で取り組むことがどのくらい重要か。

満足度の5段階評価を、「満足」= 2点、「どちらかといえば満足」= 1点、「どちらとも言えない」= 0点、「どちらかといえば不満」= -1点、「不満」= -2点、重要度の5段階評価を、「重要」= 2点、「どちらかといえば重要」= 1点、「どちらとも言えない」= 0点、「どちらかといえば重要でない」= -1点、「重要でない」= -2点として、各項目に対する満足度と重要度を得点化し、平均値（加重平均）を算出しました。

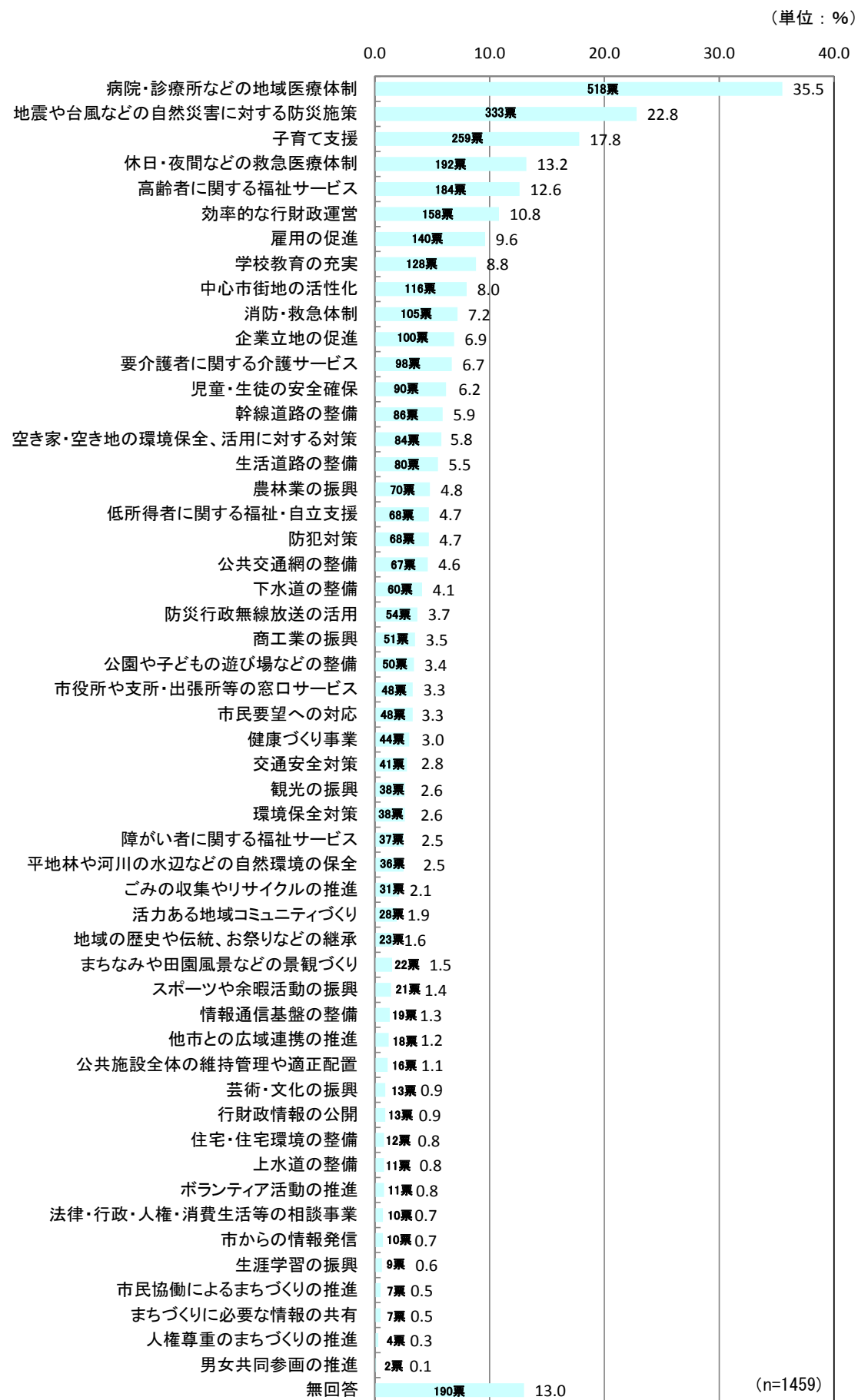
今後特に重要となる施策は、満足度が低く、重要度が高い項目と考え、満足度と重要度の差（重要度－満足度）を算出しました。

その結果は、下図のとおりです。



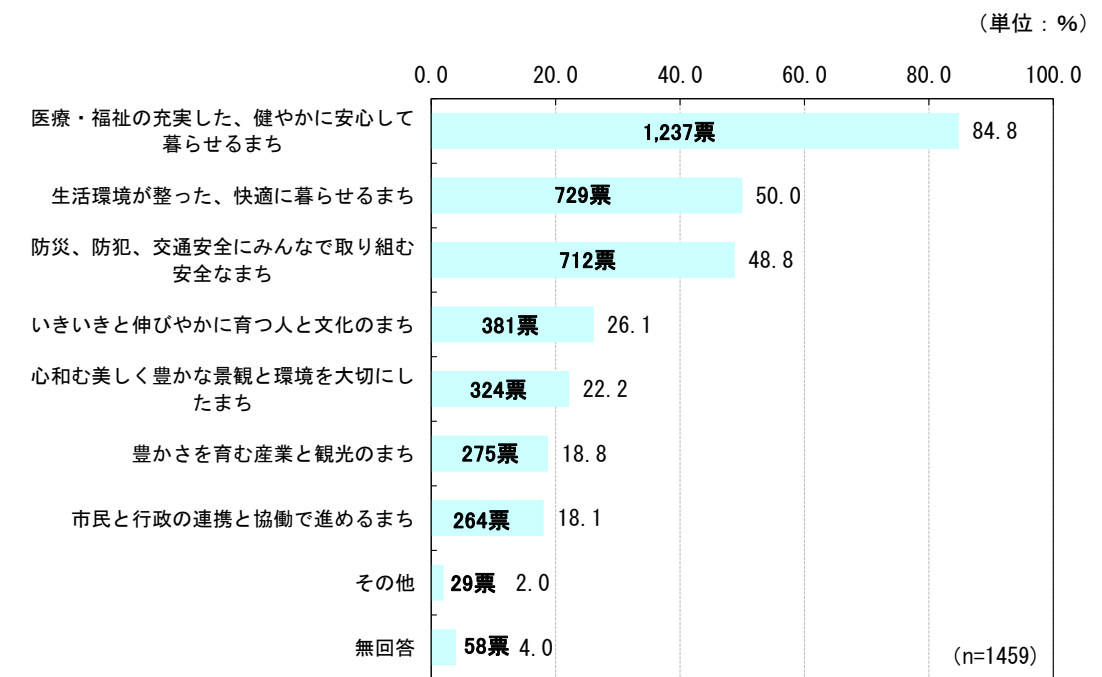
(6) 今後、筑西市の取り組む施策（事業）として重要だと思う項目は何ですか。

第1位は「病院・診療所などの地域医療体制」で35.5%、第2位は「地震や台風などの自然災害に対する防災施策」で22.8%となっています。



(7) あなたは、将来の筑西市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。

第1位は「医療・福祉の充実した、健やかに安心して暮らせるまち」で84.8%、第2位は「生活環境が整った、快適に暮らせるまち」で50.0%、第3位は「防災、防犯、交通安全にみんなで取り組む安全なまち」で48.8%となっています。こうした中で、本市では現在、新中核病院の整備や国道50号バイパスの整備に取り組んでいます。



(8) あなたは、人口減少対策として、どのようなことに力を注ぐべきとお考えですか。

第1位は「企業誘致、創業支援、産業活性化などにより安定した雇用を確保する」で39.8%、第2位は「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」で30.7%、第3位は「少子高齢化、人口減少を踏まえた持続可能で安全・安心なまちをつくる」で17.9%となっています。こうした中で、本市では工業団地の造成や企業誘致に積極的に取り組んでいます。

